

DAIDO CAMPUS

DAIDO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

1999.4.26 No.28

編集・発行 大同工業大学社会交流センター

〒457-8530 名古屋市南区滝春町10-3

TEL 052-612-6193

No.28



新緑の白水校舎中庭

CONTENTS

澤岡新学長就任

新任教員・退任教員

待望の石井記念体育館完成

研究室を訪ねて

TOPICS

本学初の論文博士誕生

初の本学主催企業説明会

平成10年度 学長賞三好賞受賞者 他

アンテナ

学生設計のトイレが木曾三川公園に

専門技術の公開講座 他

キャンパスライフ

第34回 大学祭 他

桃介を訪ねて(4)

ゴビーの散歩道

地球環境問題

図書館 新システム稼働開始

INFORMATION

大同工大キャンパス
1999
APRIL

4

澤岡新学長就任

堀井憲爾学長の任期満了に伴い、澤岡昭氏が4月1日付けで学長に就任しました。



宇宙飛行士になることを 夢見ております。

この度、学長に就任した澤岡です。どうぞよろしくお願い致します。大同工業大学は21世紀の国際グローバルゼーションを先取りした大学に生まれ変わることに全力投球を開始したところではあります。学内には「キミと一緒に変わろう!!」をキャッチフレーズとしたポスターが掲示され、新キャンパス建設計画が着々と実行されています。

3月には石井記念体育館が完成し卒業式が挙行されました。7月には講義棟の建設が始まり、2000年末までに実験棟を含む第1次計画が完成する勢いです。建物ばかりではありません。中身もそれ以上に変わろうとしているのです。この時期に学長に就任したことは大変幸運であったと感謝しております。

個人的なことを少し紹介させていただきます。私は長い間、スペースシャトルやロケットを利用した宇宙実験のプランニングの仕事をやってきました。大同工業大学の学長に就任することがなければ、2004年完成予定の国際宇宙ステーションで行う研究計画のプランニングに専念する予定でした。宇宙ステーションを使いこなすために国内数力所に研究センターを設置することが考えられています。中部圏は航空宇宙産業のメッカですから、必ずやここにセンターが設置されることでしょう。そして、大同工業大学がその重要な役割を果たし、これを通じて本学が社会との連携を一層強めるようになることを念願しております。そして私自身が宇宙飛行士になることを夢見ております。

新学長プロフィール

澤岡 昭 (さわおか あきら)

生年月 / 1938年12月

最終学歴 / 昭和40年9月 北海道大学理学研究科
博士課程物理学専攻中退

学位 / 理学博士

出身 / 北海道

経歴 / 昭和40年10月 大阪大学基礎工学部助手
昭和44年9月 東京工業大学工業材料研究所助手
昭和49年9月 東京工業大学助教授
昭和56年9月 東京工業大学教授
昭和63年9月 東京工業大学セラミックス研究センター長
平成6年4月 東京工業大学工業材料研究所長
平成8年5月 東京工業大学応用セラミックス研究所長
平成10年4月 文部省宇宙科学研究所教授(併任)
平成11年4月 大同工業大学学長就任

専門 / 高温高压材料科学

公職 / 文部省学術審議会専門委員、科学技術会議専門委員、
宇宙開発委員会専門委員、原子力委員会専門委員
など多数

受賞 / 昭和58年10月 フルラス賞

平成5年9月 国際パリスティックアワード賞

平成6年8月 ラインハルト賞 ほか

学会 / 平成2年~4年 国際パリスティック協会会長

平成3年~7年度 日本マイクログラフィティ応用学会会長

平成11年度入学式・学長告辞

大同工業大学の学部及び大学院へ入学された皆さん、委託生として入学された皆さん、入学おめでとう。

同時にご父母をはじめとする君たちをここまで育ててこられた皆様に心からのお祝いを申し上げます。この良き日を迎えることができましたのは、本人の努力はもちろんのこと、ご関係の皆様のご苦労があったことと、ここに改めて敬意を表する次第です。

大同工業大学は創立35年、学園の歴史をたどると60年の歴史を有する大学であります。大正の時代に、慶應義塾大学創設で有名な福沢諭吉の娘婿である福沢桃介翁は、大同電力株式会社を設立し、木曾川の水を利用した大規模発電所と名古屋から大阪へ至る送電線を完成させました。発電された電力を利用するために中部圏に数々の産業が興されました。これが現在の中部地区の有力企業である中部電力、名古屋鉄道、大同特殊鋼などへと発展しました。

福沢桃介翁はこの事業を通じて、理工学が産業の糧として必要なことを痛感され、このための教育に、多くの私財を投じられました。この意志を受けた当時の大同製鋼の下出義雄社長は福沢桃介翁の亡くなられた翌年に、大同工業教育財団を設立しました。この財団が我が大同学園のルーツであります。

大同工業大学は1964年に設置されて以来、35年間に亘って、わが国の産業の発展に多大な貢献をし、多くの人材を送りだしてきました。

現在、世界の経済の仕組みはグローバル化の名のもとに、激動の嵐の中にあります。アメリカを除く全ての国々は苦痛の中で新しい仕組みに生まれ変わろうとしています。しかも、この新しい仕組みの原則は、欧米の基準から生まれたものであるため、文化の異なる日本をはじめとするアジアの国々は、大変な困難を強いられています。

工業製品の生産について例を挙げますと、新しい経済の仕組みの中では、世界的規模で、より強いものだけが強くなるという、今までのやりかたからは信じられない状況が進行しております。幸い、中部圏の産業技術には世界のトップを走るものが多くあります。中部圏の活力が現在の日本の不況を克服する牽引力になると確信しています。

産業界が最も必要としている人材は、常に世界を意識した個性的な技術者であります。産業界は大同工業大学とその卒業生に大きな期待をしております。大同工業大学の教職員は全力を挙げてこれに応える覚悟をしております。こつこつと努力する中に、キラリとした創造性を発揮する人材を育てることが本学の教育方針です。



現在、大同工業大学では国際グローバル化の時代に対応した教育と研究の仕組みの改革を行い、さらに学生諸君が青春を満喫できるような新キャンパスの建設を着々と進めております。この春には新しい体育館が完成し、そこで卒業式が行われました。新しい講義棟の建設がもうすぐ開始されます。学部へ入学する諸君が卒業研究に入る頃には大学のキャンパスは、全く違ったものに生まれ変わっているはずです。

自分にとって何が好きなのか、何をやりたいか、これを見つけることは容易ではありません。諸君はまず考え、思うことを存分にやってほしいと思います。一生懸命やっていると、人生は思いもかけない方向に展開するものです。自分の可能性に賭けることです。多くのことを経験することによって変わってゆく自分に驚くはずですよ。

大学院へ入学の諸君にとっては、すでにこのことは十分に体験されていると思います。さらに一層精進されて、これからの日本を支える頼りがいのある技術者に成長されるよう願ってやみません。

目前の21世紀の日本は、現在の予想とは違った思いもかけない方向に変わってゆく可能性があります。しかし、どのように変わろうとも、もっともっと豊かで、お互いが思いやりのできる成熟した社会に生まれ変わることが必要です。

思いやりのある社会を維持するためには、諸先輩が築き上げた伝統ある日本の固有の文化を守る心と同時に力強い経済力が必要です。この最大の原動力は躍動する若い力と優れた技術力であり、これなくして日本に将来はあり得ないし、世界への貢献もあり得ません。そのために最も期待されているのが君たちなのです。

「光陰矢の如し」の言葉どおり、時はあっという間に過ぎるものです。四年間の学部生活、さらに大学院へ進まれる諸君はこれからの大学院生活を通じて、若い力を思いっきりぶつけて、勉強に、研究に、スポーツに、友人づくりに励んでいただきたいと思います。

大同工業大学は皆さんを心から歓迎します。改めて入学おめでとうと申し上げ、私の告辞といたします。

過去最高 990 名が入学

今年度の新入生は、昨年度同様昼夜開講制に伴い、開学以来最高の990名の新入生が入学しました。

学部生昼間主コース783名、同夜間主コース143名、大学院修士課程54名、同博士課程1名、委託生5名、科目等履修生・研究生4名。



新任教員のみなさん

4月1日付で本学に着任されました先生方です。自己紹介をして頂きます。

一般教養物理学教室講師

今井 健二 (いまい けんじ)



プロフィール

出身大学 名古屋大学大学院理学研究科
博士後期課程物理学専攻修了
学位 博士(理学)
最終前歴 名古屋大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー非常勤研究員
生年月 1968年6月
趣味 映画鑑賞

大同工業大学には、昨年度まで非常勤講師としてお世話になっていましたが、この度物理学教室の専任講師として着任することになりました。今後ともよろしくお祈りいたします。

以下では、現在私が研究している非線形物理学についてお話しします。皆さんは、映画「ジュラシック・パーク」をご覧になったでしょうか。その中で、一人の科学者が“カオス”という自然現象について説明していました。また最近、「ソリトンの悪魔」というSF小説が出版されました。“カオス”や“ソリトン”は非線形物理学で出てくる用語です。

学生の皆さんが高校や大学で学んできた物理学で登場する振動、波動や電磁気現象では、「線形性」といって重ね合わせの原理が成り立っています。一方、先にお話した“カオス”と“ソリトン”は、「非線形性」によって現れる複雑さと秩序構造という2つの対極的な現象を表しています。現在、私は“ソリトン”の方を主に研究しております。

建設工学科建築学専攻講師

萩原 伸幸 (はぎわら のぶゆき)



プロフィール

出身大学 名古屋大学大学院工学研究科博士課程
前期課程建築学専攻
学位 博士(工学)
最終前歴 名古屋大学大学院工学研究科
生年月 1964年11月
趣味 音楽、お酒、マラソン(タイムは速くない)、その他

この度建設工学科に着任いたしました。よろしくお祈りいたします。本学においては、4年間、非常勤講師を務めさせていただいた関係で、一部の人々には講義でお会いしていることと思います。今後ともお手柔らかに(?)お付き合いいただければ幸いです。個人的には学生諸君とは気軽に話し合える関係でいらればと考えております。一見おとなしい人に見えるかもしれませんが、実はそうでないかもしれません。屈託のない議論と楽しさの混在する研究・教育環境を目指していきたいと思っております。

材料科学技術研究所教授

遠藤 敏夫 (えんどう としお)



プロフィール

出身大学 名古屋大学大学院工学研究科
学位 工学博士
最終前歴 大同特殊鋼(株)技術開発研究所プロセス研究部
生年月 1946年10月
趣味 野菜や花を種から育てること

四半世紀にも亘る長い会社生活から、大学教員という新しい生活が始まりました。恵まれていた会社生活に感謝し、これからの新しい生活に夢をふくらませております。

さて、私は卒研と修士で制御理論を充分学んだつもりでしたが、実際には会社に入ってから電子回路を組み立て生産設備の実現象を追って、はじめて制御理論が理解できるようになったというのが実状です。つまり、私は「学問の背景を知らずに、ただ課題を追求していただけ」であり、たいへん反省させられました。

この体験を活かし、非常勤の講義では、はじめに「工学とは何か、また、この講義はなぜ必要か」に時間を費やしてきました。これからの講義でも続けたいと考えています。また、専任教員となり卒研指導を担当することになりますが、卒研ではものづくりをしながら考えるテーマを選び、学生諸君と一緒に学び、研究していきたいと思っています。

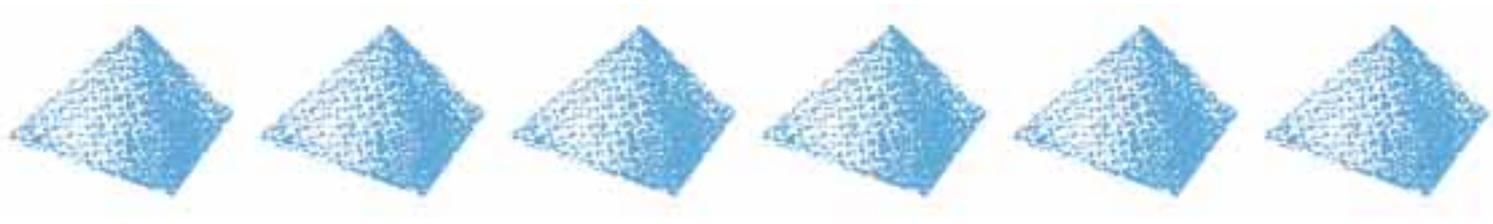
学位取得 おめでとうございます



電気工学科 愛知久史講師

平成11年1月29日付で名古屋大学から博士(工学)の学位を取得されました。

学位論文「電気接触子の接触抵抗特性に関する実験的研究」



退任教員のみなさんからのメッセージ

3月31日付で4名の先生方が退任されました。退任された先生方から寄稿して頂きました。

自信をもって夢を目指せ



学 長

堀井 憲爾

私の大学教育30年を振り返って、私の信念は、“人は皆それぞれ才能を持っている。それを引き出し、自信をつけ、夢を目指して進む道をつけること、それが教育である。”というものでした。大学はそのスタートラインであり、在学中は勿論卒業後も、絶えざる修練によって更に自己を高める努力が必要です。

この地域の特色である物造りこそ日本の産業の基本であり、それを担う技術者を目指す諸君の責任は極めて重大であります。本学で身につけた技術者としての自信と夢を忘れることなく精進していただきたい。

ここで私は、人がお互いに助け合い、いたわり合うことの大切さを申し上げたい。ひとりひとは弱いものであり、人という字は2人が支え合う形を示しています。昔から農耕民族として日本人は助け合って生きてきました。森の中を走り回る狩猟民族とは違います。これからは、西欧的競争主義と日本の人情主義とが融合した、活気があってしかも暖かい社会を目指すべきでしょう。しかし、現実はまだますます厳しい競争時代になっています。この競争に生き残るためには、改革の心が必要ですが、一方でいたわりの心も忘れてはいけません。

私は織田信長の生きざまに興味をもって、信長は因習にとらわれず、国の治め方から戦争のやり方まで改革を進めました。例えば楽市楽座(らくいちらくざ)という自由市場経済で民衆に活力を与えました。又、刀と槍の個人戦を鉄砲中心のシステム戦に変えたり、情報戦で敵の裏をかくて桶狭間(おけはざま)の奇襲を成功させたりしました。しかし、いたわりの心を忘れたために、最後は身内の反乱で自滅しました。

いま大学を去るに当たり、学生諸君並びに職員各位が元氣良く、自信をもって新しい大学の夢を目指して邁進されることを祈ります。

離 見



副学長
機械工学科教授

細井 祐三

6年間と云う比較的短い期間でありましたが、副学長をはじめ大学院教務委員長(現副研究科長) 博士後期課程主任などの役職を仰せつかり、内容の濃い勤務ができましたことを感謝しております。とくに学園中期基本計画の策定ならびに、それに基づく新キャンパス計画の基本設計の確定には、種々の討議がありました。教員と職員の皆さんの惜しみない協力が得られたことを嬉しく思っています。

私はこれからの役職を務めるときに「離見」と云うことを常に心掛けてきました。離見、離れて見る、すなわち自己(演者)の目を離れて客観的に見ることです。離見が100%できたか云うと、もちろんそのようなことはできません。なるべくのように努力したと云うことです。自分に利害が及ばなければまさに離見することができますが、自分あるいは自分の所属する組織が関係してくると、離見はなかなか難しいことです。しかし自分の主張として、皆が本来の目的は何かと云う観点から客観的に考えて物事を進めていけば適切な結論が得られるものと信じています。

新キャンパス建設を皆さんの協力で完成させることにより、大同工大の新たな発展が始まると思います。大同団結して、大学の冬の時代をのり切ってくださいを期待しています。

滝春の庭に咲かせん 夢の花
心一つに 実をぞ結ばや



材料科学技術
研究所助教授

市古 忠利

大学を去るにあたって



建設工学科
建築学専攻教授

齋藤 辰彦

昨日こそ早苗としか いつのまに
稲葉そよぎて秋風のふく

(古今・秋上 よみ人しらず)

桜に包まれてキャンパスを初めて踏んだのはつい昨日のようで、またたく間に13年、今日大学に別れを告げるようになった。

この間を振り返って密かに誇りとしていたことが二つある。まず、担当した計105名の卒業生がそれぞれ社会で活躍し、多くがよい評価を得ていることである。次に図書館基本設計の責任者として、自らに課した目標通りの成果、すなわち滝春のエントランスに相応しく晴(ル)の場としての中庭を損わず、本学のシンボルとしての建築が得られたことである。建築意匠系の先生方の協力、最終的には笠嶋先生(あきしま)の原案により今の姿が実現された。

大学冬の時代、それぞれが今後の生き方を問われているが、本学においてはその生い立ちと現状を踏まえ、「教育重視の大学」として進むべき道が示されている。国公立の平均に焦点を当てた外部機関の指針や、同系他大学の例をひいて、本学に適用することは避けたい。阿順(あじゆん)と云う(うごさべん)が、大企業をも破滅に導いた例をわれわれは目の当たりにしているところである。

学生諸君に望みたい。学問に易しいものはない。理解不足を感じたら忍耐力で立ち向かおう。いつかは それは社会に出てからかもしれない 光がさす。

全体としては、もっとスマートな性格の大学になってもらいたいと思う。エネルギーを分散させず、「教育」一点に全学の知恵と力を集中させれば、自ら道が拓け、余力も生じて来よう。退任の弁としては聊か生々しく異例なものとなってしまったが、本学の将来に期待する老教員として御許しいただきたい。

最後に、多年暖かく接していただいた大学教職員、学生諸兄姉に心より感謝すると共に、本学一層の発展を祈って御別れの挨拶に代える。



体育館東側のアプローチ



石井健一郎氏胸像



待望の石井記念体育館完成

待望の石井記念体育館が滝春校舎に完成しました。

3月1日、竣工式は晴天とはいえまだ肌寒い新体育館で行われました。お身体の状態がすぐれない石井健一郎氏のご来臨がいただけなかったのは残念でしたが、代わりに令夫人のご出席をいただき、多くの来賓の方々の出席をいただいで、式が執り行われました。式後、出席の方々は館内を見学し、充実した施設に喜びの声を上げていました。



2階ギャラリーとランニングコース



メインアリーナ バスケットボールやバレーボールなら2面、ハンドボールなら1面とれる。バドミントンもOK。



更衣室 奥にシャワー室がある。



トレーニングマシン、バイク、ランニングマシン、パーベルセットなど



サブアリーナ 柔道、剣道、空手、ダンスなどができる。



体育館と学生ホール棟に囲まれた中庭がこのように変わる。

研究室を訪ねて

5

街・色・調和

～ 稲垣研究室 ～

建設工学科建築学専攻 稲垣卓造教授



◀誰かが描いたこの絵が実験室に貼ってあった

色に対して日頃みなさんはどのような認識を持っていますか？

身近なところでは、車の色。「スポーツカーは赤でなくては!」、「ポルシェはシルバーメタリックが最高!」、「ミニカーパーはプリティッシュグリーンが定番!」等々、人それぞれ色に対する思い入れみたいなものがあると思います。しかし、色が街並みにどう影響しているかなんて考えたことがあるでしょうか？

今回は「色彩と都市景観」をテーマに研究を行っている稲垣研究室をご紹介します。

色と街並み

都市景観。読者の皆さんも一度や二度はこの言葉を聞いたことがあることでしょう。これは言うまでもなく、都市(街)の景色、眺めのこと。では都市の景色とは何でしょうか。「都市を形成する自然や建物などのようす」と言ったらよいのでしょうか。この都市景観を形成する要素の一つとして「色彩」があります。

欧米諸国の街並みが総じて美しいといわれるのは、外壁の色や材質が揃っていたり、建築様式などに統一感があることによります。

現在の日本の街並みを見ると、建物、道路、広告塔、看板など、街は色彩で溢れ、

それらは何らの統一性もなく混沌としています。また、建物の色をめぐって住民運動が引き起こされるなど、社会問題にまで発展するケースすら発生している状況です。

ミニチュアの街並み

さて前置きはこれくらいにして、先生の実験室を覗いて見ることにしよう。

部屋では先生の現在の研究に使用する手作りの模型がひときわ目を引く。この模型は、住宅団地をイメージした模型で、街路と建物の模型で構成されている。実験では、街路模型に数十種の色の建物模型を組み合わせたものを写真に撮り(写真参照)、その写真を学生をはじめとする被験者が評価し、その結果を分析する。この結果から、都市景観から見た建物の望ましい色について考察する。

部屋の一角にはコンピュータが数台並んでいる。これは、模型実験では現実感が薄いことを補うために、現実にある街と建物の写真の合成を行うために使っている。

先生の研究では実際に街に出かけることも多い。例えば、栄、伏見、今池などの街に出かけ、色彩的に問題があり改善の余地がある、と感じる街並みを探し、問題点を分析、改善方法を試みるものである。

これら一連の研究により、建物に使うには好ましくない色(一般的に色相[赤青黄等の色あい]が多様、低明度、高彩度)が科学的に証明することができた。

さらに先生の研究業績は、色彩学分野では著名な図書である「新編色彩科学ハンドブック」に掲載(分担執筆)され、色彩学発展の一翼を

担っている。

国内では貴重な研究者

色彩に関連する学問領域は多岐にわたる。同じ建築分野の中では建築意匠、工学では照明工学、その他の分野では、医学、デザイン、心理、などがあり、異分野との交流は活発に行われている。しかし例えば、照明工学を専門とする研究者は美的なものには関心が薄く、心理を専門とする研究者は応用に関心が薄く、と言うような状況にあり、色彩に関連する研究者の数は多いものの、先生と同一分野の研究者は全国でも10名程度という。

先生は日本色彩学会・色彩学論文賞の受賞や、日本建築学会・色彩評価サブワーキンググループの主査を務めるなど、社会的にも大きな評価を得ている。

「色」を楽しむ

今の日本の色彩の混乱を見ると、日本人には色に対する感性がないようにみえる。しかし、少し前の時代には決して色彩のセンスがなかった訳ではないと言う。

今日の日本社会では、目立たないのが美德であるとの価値観が存在することや、大量生産・大量消費の時代には「色」を軽視してきたこと、さらには、色に関する教育がなされてこなかったこと、が今日の状況を生みだしてきたのであろうと先生は考えている。日本が豊かとなった今、生活の中でもっと色を楽しもうと先生は提案する。

先生の「色」へのこだわりは子供の頃から。本の表紙や商品パッケージなどの色に強い興味を持っており、今もそのこだわりは変わらないと言う。

先生の研究の原動力は、案外ここにあるのかもしれない。



街路と建物のミニチュア

初の本学主催企業説明会

厳しい就職戦線を乗り切るための対応策として、280社の企業の採用担当者と学生670名が出席しての説明会が、2月22日名古屋国際会議場で開催されました。

日頃の通学姿とは見違えるような、きりっとしたスーツ姿の学生は、説明を受ける企業の内容、質問事項をあらかじめ企業訪問カードに記入したうえで、会社の概要・求人状況等の説明を受け、積極的に質問・相談をおこないました。

参加された企業から、「個性豊かな人が多く、特に女子学生の積極的な発言に好感を持ちました」「学生諸君の真剣な眼差しに、感動・感激いたしました」という礼状もいただくなど好評のうちに終了しました。
(就職指導室)

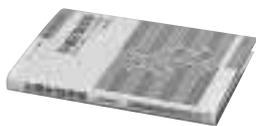


新刊著書を語る

●機械工学科教授 中島浩衛

「形鋼圧延技術」 技術導入、研究、そして自主技術開発
(叢書 鉄鋼技術の流れ 6)

A5版252ページ
著者:中島浩衛
出版社:地人書館
発行日:1999 2



形鋼材は社会インフラストラクチャーと最も関係が深く、近年の先端技術のような派手さはないが、社会環境を変革していくとき欠くことのできない基本素材である。

本書では、1901年(明治34)日本に近代製鉄技術が誕生して以来、今日までの形鋼材の圧延技術、生産設備の歴史の変遷および近年の技術進歩について述べている。すなわち、主としてドイツを中心とした海外からの圧延設備、孔形設計図の導入や技術者の指導によって生産が開始された欧米技術の導入による揺籃期(1901～1930)/欧米技術の消化、吸収による育成期(1930～1955)/技術の改良、改善による成長期(1955～1975)/自主技術開発研究による発展期(1975～現在)の4つの時代を経過している。それぞれの時代、社会の変遷、技術の流れ、開発研究の特徴を明らかにすると同時に著者の圧延研究、現場との共同研究、新圧延工場建設・稼働経験などを引用し、さらに、FEM研究などの形鋼圧延理論と実際についても解説している。

本学初の論文博士誕生



左から水野氏、藤本氏、堀井学長

水野康文氏(ヤマハ発動機研究開発センター基盤技術研究室主事) 藤本博氏(大同工業大学応用電子工学科講師)が、本学で初めての論文博士号を、3月19日付にて授与されました。

両氏の今後のご活躍を祈ります。

水野 康文

論文題目「二輪車運転時の生体負担の評価に関する研究」

予防安全研究の中心的テーマの一つとして、生体負担度の評価法の確立が挙げられている。そこで、ストレスを評価する上で、有効かつ実用的な生体情報である心拍変動性(heart rate variability:HRV)に着目し、HRVによる二輪車運転時生体負担度評価法の確立を目的とした研究。

藤本 博

論文題目「半導体デバイスの低温・低圧成長プロセスと低温ドーピングプロセスに関する基礎的研究」

高品質デバイスを作製するためのプロセスとして低欠陥の結晶成長プロセスと超微細化高濃度・低欠陥のドーピングプロセスが必要である。前者は電気伝導型の変換が困難である - 族化合物半導体薄膜の成長欠陥を対象として、後者はその膜中に無欠陥領域の新しいドーピングプロセスとして、電子ビームドーピングを試みる。またプロセスの柱となる実験を通してドーピングの機構を解明する研究。

植 樹 祭

齋藤家のご寄付(百万円)による植樹祭が3月10日新設の滝春校舎西駐車場に於いて挙行されました。当日は、齋藤勝広、直子ご夫妻、ご家族をはじめ横井理事長、来賓、学生会役員など多数の学生達の列席のもと「りゅうせい桜並木」と命名された桜を植樹しました。これは、昨年9月モータースイクルススポーツ部の合宿中(山梨県上九一色村本栖ロッジ)に急性心不全により亡くなった98M故齋藤隆文さんが、本学での生活を生き生きと楽しんでいたことに対して、ご両親が本学への感謝の気持ちから寄付されたものです。

齋藤ご夫妻▶



平成10年度 学位記授与式

早春の3月18日、石井記念体育館における初行事として、平成10年度学位記授与式が厳粛に挙行されました。

学部卒業生649名、委託修了生5名、大学院修士課程修了生31名、が溢れる希望を抱いて実社会に巣立ちました。



平成10年度 学長賞、三好賞

受賞おめでとうございます。3月18日、学位記授与式において表彰されました。

(敬称略)

成績優秀者



機械工学科
浅田 英雄
(大府東高校)



機械工学科
山賀 洋和
(高山工業高校)



機械工学科
吉見 圭一
(安芸府中高校)



電気工学科
川畑 竜一
(西尾高校)



電気工学科
杉浦 隆司
(名城大学付属高校)



建設工学科土木工学専攻
酒井 正利
(松蔭高校)



建設工学科土木工学専攻
松井 智久
(松蔭高校)



建設工学科建築学専攻
杉本 善一
(浜松湖南高校)



建設工学科建築学専攻
宮下 志津香
(七尾商業高校)



応用電子工学科
浅井 康伸
(豊明高校)



応用電子工学科
榎田 昇克
(各務原東高校)



自動車部
佐藤 雅則
(徳島市立高校)



学生会
中村 雄一
(守山高校)



学生会
井澤 博史
(大府高校)



建築設計競技会
安形 寛子
(新城東高校)

課外活動優秀者



機械工学専攻
高井 淳秀
(大同工業大学)



機械工学専攻
高見 宏武
(埼玉工業大学)



電気・電子工学専攻
牧原 孝博
(大同工業大学)



電気・電子工学専攻
森本 陽子
(大同工業大学)



建設工学専攻
市川 隆人
(大同工業大学)



建設工学専攻
野上 周嗣
(大同工業大学)

大学院修士論文優秀者



機械工学科
坂口 聡
(各務原西高校)



電気工学科
小林 篤
(御津高校)



建設工学科土木工学専攻
小川美保子
(豊橋南高校)



応用電子工学科
青木 隆仁
(沼津工業高校)

課外活動優秀者



硬式野球部
北 良太
(内灘高校)



漕艇部
伊藤真奈美
(浜北西高校)



漕艇部
江村 陽子
(鳴海高校)

学
長
賞

三
好
賞

杉田さん設計のトイレが木曽三川公園に

建設工学科建築学専攻96生の杉田牧子さんが設計したトイレが木曽三川公園に設置されてチュール祭などで公園を訪れる人々に利用されています。建設省中部地方建設局や日本トイレ協会が主催する「河川公園トイレ使用展示会」の一環として展示・利用されるものです。

これは本学建築学専攻に、企業から新しい環境配慮型トイレの建物デザインを委嘱され(1月号に詳細掲載済み)、多数の作品の中からいくつかが商品化されつつありますが、今回のイベントには杉田さんの設計作品が選ばれたものです。トイレの中には、他の学生のデザインも展示されています。公園来訪者が多く、また内部の展示作品を見る人もいるなどで、長蛇の列ができてしまうのが悩みになっているとのことです。

デザインは清涼飲料水の缶を横に寝かしたもので、缶の胴体に当たる部分を利用して広告ができるようになっています。環境配慮型の商品は一般にコスト的に高くつくことが問題になりがちであり、杉田さんの作品は、広告を行うことでコストの一部を回収することができることが、企業から高く評価されているとのことです。

トイレは10月末日まで設置されます。花の美しい季節に行楽を兼ねて一度でかけてはいかがでしょうか。トイレは公園の北口すぐ、第2駐車場入り口付近にあります。

【木曽三川公園センター】

名古屋方面から東名阪自動車道弥富ICから約10分。立田大橋(木曽川)・長良川大橋(長良川)の東。



ボランティア

ボランティア
募集中!!

“せらぎ川”を守る会が発足



植樹している堀井学長

滝春キャンパスの南側を流れる大同用水、通称せらぎ川をクリーンにし、花一杯にするボランティアがスタートした。去る3月16日、堀井学長以下6名の学生が、川の中や川岸の植込みからゴミを拾い集め、川の中に古タイヤを利用した“かきつばた”の鉢を置き、岸には“れんぎょう”の苗や水仙を植えた。桜や“れんぎょう”の花に続き“かきつばた”や“しょうぶ”が咲き乱れる憩いの場として、学生・職員や地域の人達にも親しまれるようボランティア活動が続けられる。

98 D 高岸毅さん、96 E 畑正幸さんがリーダーとなり、入会希望者や、球根や花木の提供して頂ける方は学生室へ申し出てほしいと呼びかけている。

19社から研究資金を受け入れ!

平成10年度に民間の19社・団体から受け入れた研究資金は37件、28,401千円に達しました。受け入れた研究資金の会社別内訳は表のとおりです。また、資金の種別毎の内訳では、共同研究820千円、受託研究15,300千円、研究助成金1,000千円、奨学寄付金11,281千円でした。

(五十音順)

企業等名称	金額	種類	件数	氏名
王春工業株式会社	300,000	奨学寄付	1	大東憲二助教授
大阪ガス株式会社	2,000,000	奨学寄付	1	光田恵講師
オカベ工業株式会社	181,000	奨学寄付	1	山森哲夫技師補
株式会社ジオ・スーパーオフィス	1,500,000	奨学寄付	1	太田福男教授
情報ストレージ研究推進機構	1,500,000	奨学寄付	1	神保睦子助教授
新日本製鐵株式会社	1,500,000	奨学寄付	2	土田豊教授
		受託研究	1	中島浩衛教授
大同特殊鋼株式会社	11,020,000	共同研究	1	岩間三郎教授
		受託研究	15	杉浦正勝教授・土田豊教授・中島浩衛教授・西堀賢司教授・細井祐三教授・大嶋和彦助教授・小森和武助教授・高藤新三郎講師・井上孝司講師・坂貴教授・藤田順治教授・太田福男教授・和田隆夫教授・堀尾吉巳助教授・藤本博講師・小野宗憲教授・神保睦子助教授
大豊工業株式会社	500,000	奨学寄付	1	小野宗憲教授
武田工業株式会社	300,000	奨学寄付	1	小野宗憲教授
玉野総合コンサルタント株式会社	500,000	奨学寄付	1	大東憲二助教授
社団法人土木学会	700,000	奨学寄付	1	舟渡悦夫助教授
株式会社ナガラ	2,000,000	受託研究	1	中島浩衛教授
日本データパシフィック株式会社	100,000	奨学寄付	1	烏野寿章助教授
日本電信電話株式会社	1,000,000	受託研究	1	山内五郎教授
株式会社丹羽由	700,000	受託研究	1	桑山忠教授
株式会社日立製作所	900,000	受託研究	2	中島浩衛教授・井上茂樹教授
財団法人日比科学技術振興財団	1,000,000	研究助成	1	光田恵講師
ヤマハ発動機株式会社	700,000	奨学寄付	1	高田和之教授
ヨ・コン株式会社	2,000,000	奨学寄付	1	山本俊彦教授
合 計	28,401,000		37	

DIT 同友会



昨年1月31日発足したDIT同友会(退職職員の会)の第2回会合が、1月30日キャッスルプラザにて開催されました。当日は45名の出席者があり、理事長・学長より新キャンパス構想を始めとした学園の魅力化についての説明がなされたほか、愛知学院大学の赤池恵昭教授をお迎えして「日本人の宗教観と心の教育」について講演を行って頂くなど今回も盛りだくさんの内容で行われました。講演後の親睦会は懐かしい顔が集まり、なごやかな雰囲気の中で大いに盛り上げました。(人事室)

専門技術の公開講座

「基礎アナログ電子回路」

講師：井上茂樹教授(応用電子工学科)

本学主催第18回公開講座は、電気・電子工学の基礎専門講座として3月20日(土)、27日(土)の2日間にわたり開講した。本学同窓生をはじめ企業や工業高校から派遣された技術開発・設計技術者、教員など14名の方々が受講し、大変好評でした。受講者から「学生の時は、理解できなかったが、実務経験してから再度勉強すると、とてもよく理解ができました。」との声や、社会人向け専門講座(資格取得講座)の開催希望者が多数ありました。



お知らせ

公開講座 一級建築士受験対策講座

日程：学科試験対策 5月15日・22日・29日

各土曜日 9:30～15:00

設計製図試験対策 9月18日・25日

各土曜日 9:30～15:00

対象：本学卒業生 30名

内容：5月15日(土)

- ・合格体験談・他 / 土田尚子(1時限)
(H9一級建築士合格)
- ・建築計画(計画)/ 笠嶋 泰(2時限)
(建設工学科建築学専攻教授)
- ・建築計画(計画)/ 稲垣卓造(3時限)
(建設工学科建築学専攻教授)

5月22日(土)

- ・建築法規 / 馬場富雄(1・2時限)
(本学非常勤講師)
- ・建築構造 / 萩原伸行(3時限)
(建設工学科建築学専攻講師)

5月29日(土)

- ・建築構造 / 萩原伸行(1時限)
- ・建築施行 / 山本俊彦(2・3時限)
(建設工学科建築学専攻教授)

9月18・25日(土)

- ・設計製図試験対策 /
澤柳 伸(1～3時限)
(本学非常勤講師)

申込先：大同工業大学 社会交流センター

TEL 052-612-6193

FAX 052-612-5623

留学生

ロータリークラブで体験スピーチ



左からホセインセアさん、横井理事長、李俊弦さん、李万燕さん

ロータリークラブは社会奉仕を理念としていたるところにおかれている世界的な民間組織です。地域の会社の役員、弁護士、医師などがメンバーになっていることが多いようです。名古屋東南ロータリークラブでは留学生の体験談を聴くことになり、本学に学ぶ3人の留学生が2月4日の会合に招待されてロータリーメンバーと交流しました。3人の学生は次の方々です。

サイドサベット・ホセインセアさん

(バングラデシュ、電気工学科3年)

李 俊弦 イ・ジュンヒョン さん

(韓国、修士建設工学専攻2年)

李 万燕 リ・マンエン さん

(中国、電気工学科3年)

ここに当日の李万燕さんのスピーチを紹介します。(ロータリークラブ機関誌から)

漢字・平仮名・カタカナ

私は中国から来た李 万燕です。

私は日本に来て4年が過ぎましたが、日本について、まだ充分に理解していないと思います。ですからここで、自分の今までのいくつかの体験と感想を、日本への期待として話したいと思います。

まず、日本語についてですが、日本語は「漢字・ひらがな・カタカナ」の3種類の違った文字から成り立っていますが、私達のように外国からきた来た人にとっては、日本語を勉強する時に、皆苦勞された経験があると思います。例えば、中国の大陸・台湾・香港、あるいは韓国から来た人にとって、漢字は上手く対応出来ませんが、カタカナには、なかなか乗り換えられませんでした。それとは対照的に、それ以外の欧米等の国から来た人達は、カタカナは理解すれば早く慣れますが、漢字はいつまでも頭の痛い種になります。日本語は、最初中国から漢字を導入し、そして自分達のひらがなを作りました。それから、海外交流が増えるにつれて、カタカナも生まれました。ちなみに、私が日本語の意味を判断をする時、その日本語の含む特別な意味がよくわかるようになったのは、日本に来て、3年位経ってからでした。

また日本語だけでなく、日本人にも深く感心しました。例えば料理・服装・住宅等、日本のように外国文化を積極的に受け入れる国はないだろうと思います。なぜなら、自分の国のものを固く守るのは基本だからです。

日本の生活が長くなると、更に日本の特長を強く感じました。それは、日本はよく、外国のもの、自分の国のものを上手く結合して利用している

ということなのです。そしてその代表は、日本の工業です。日本の工業産業である自動車・電子機器・造船等は全て外国から技術を輸入し、それを基礎として自分達で応用し、世界一流の製品を作り出しました。外国の文化を上手く受け入れる内外結合のやり方は、日本の特長であり、日本の強みだったのです。この交流こそが日本が世界一の経済力と技術力を築いた根本的な原因です。そして各国の人々は、日本を学び、日本を理解するため、日本へやってきました。

しかし、日本にいる外国人は、大きな障害にぶつかったのです。日本では、偏見を持って見られるために、生活しにくいということは、おそらく多くの留学生の感想だと思います。家を貸してくれなかったり、アルバイトを拒否されたり……ということが絶えませんでした。日本人の心の中には、狭い仲間意識や、自分自身の意識が強く存在しているようです。これからは世界経済が、もっとグローバルに進行しますし、もはや独自に生きることが出来ない時代になってきました。

例えば、現在の経済危機のように、他の国が風邪をひくと、日本は頭が痛くなります。そういう意味でも、日本人の心をもっと開くようにして、どんな国の人でも、友好的に付き合うことが出来るように希望します。

私は大同工業大学の工学部で、工業電気を勉強していますが、日本の驚く程進んでる製造技術について、大変興味を持っています。これからは、大学院に進学し、より深い理論・知識を学びたいと思います。また日本の会社にも入り、そこで実践的な技術を磨き、将来中国に戻って、そこで日本で修得した知識と経験を活用したいと願っています。微力ですが、自分の努力によって、知識と心の交流を通して、日中友好のための「草の根」の役割を果たしたいと思いますので、これからも、どうぞ宜しくお願い致します。

また、今日は外国から来た留学生に、温かい心を感じさせるこのような催しを開催して下さいましたことに感謝申し上げます。どうも有り難うございました。

第34回 大学祭(宴祭)



大学祭実行委員会
委員長 前川秀誼さん



私達大学祭実行委員会はお客様、
参加者にこれを訴えたい
テーマ LooP ~人類み~んな兄弟~

最近隣の家の人の顔も分からない人が多いようです。あまり他人に干渉せず自分自身を尊重し主張する傾向があります。それはそれでいいと思うのですが、祭りを作っていく私達から見ると何とも寂しいことです。みんなで協力しあって一つのことに関心がないと、物を作っていくことに関心がないということは、どんどん寂しい世の中に変わって行くみたいで祭りという観点から見ると明らかにかけ離れていっている感じがします。

ますますグローバル化していく世界情勢の中で「協力、繋がり、結びつき」という言葉は重要視されてきています。日常の中でもこの様なことは大切になってくると思います。

そこで我々の今年のテーマはLooP(輪)にしました。みんなが手を取り合って一つのこと

(大学祭)を作っていくと思っています。大学祭という小さな枠かも知れませんが、私達は大学祭を通してこの様なことを参加者、お客様に訴えていきたいと思っています。

こんな大学祭にしていきたいと思っています

地域住民に愛され、学生の個性の発表場のようにしたい。クラブ、卒業生の積み重ねてきた成果と実績を発表できる場所は大学祭しかないと思います。学生一人一人の個性の集大成のような大学祭が理想だと考えています。自由に遊べて、大学祭こそ本当の意味でのフリースペース(自由空間)だと思います。

そして、何よりも欠かせないのが地域住民の協力だと思います。学生以外で訪れてくれるとしたらやはり地域住民であり、その家族、友人です。普段は何の交わりもない学生もこの日だけは住民と触れ合うことができます。そ

ういう意味で大学祭は大学と住民を結びつける架け橋の役目も果たしていると思います。その中で鋳(かすがい)の役目をするのが私達実行委員会の使命といえるでしょう。

- 5月23日(日) 美流輝移(仮装行列)
- 5月27日(木) 前夜祭
- 5月28日(金) ソフトボール大会
カジノホール
- 5月29日(土)・30日(日) 本祭



クラブ活動報告

剣道部

10.12 / 13 第36回南区剣道大会			
94 M	谷村	一郎	個人戦3回戦
95 E	矢島	稔大	個人戦1回戦
95 E	山田	雅敏	個人戦1回戦
96 E	渡邊	光一	個人戦1回戦
96 A	稲山	佳伸	個人戦1回戦
97 M	荒本	浩司	個人戦2回戦
97 M	大村	晃太	個人戦1回戦
98 M	石川	典幸	個人戦2回戦
98 M	田中	秀明	個人戦1回戦
98 C	大崎	敦久	個人戦2回戦
98 C	佐藤	賢宏	個人戦2回戦

11.1 / 30 第32回中部日本理工系大学 高専剣道大会			
大同工大	0	2	静岡大学
大同工大	1	1	三重大学

クラブ紹介

「バレーボール部」

主将 96E 石中慎人さん

我が大同工業大学バレーボール部は、今かつてない活気にあふれています。その理由は二つあります。

一つは、今年の3月始めに、念願だった大学体育館こと『石井記念体育館』が竣工し、思う存分に練習ができるようになったことです。高校と共有の体育館のみが練習場所だったこれまでとは練習時間の制約が格段に改善されました。

もう一つは、クラブの活性化とも言えるべき新入部員がたくさん来てくれたことです。例年、数名程度にとどまっておられ、人数の少なさ故に練習

メニューをこなす難しい状況にありましたが、今年はなんと15人! 部員一同嬉しい悲鳴をあげています。

まずの目標は春季リーグ戦の制覇(東海大学リーグ2部)と1部昇格です。練習時間とメンバーに幅ができたバレーボール部は、皆さんの期待を受けながらこれまでにない活動の成果を挙げたいと思っています。





キャンパス カレンダー

クリーン
キャンパス
ゴミはポイと
ごみ箱へ



4月

28日(水) 日本育英会・学内貸与奨学生
受領確認締切日
29日(木) 新入生歓迎会 「みどりの日」
30日(金) 開学記念日振替休日

7日(月)~11日(金) 第6回就職ガイダンス
24日(木) 前期学生代表者会議

5月

10日(月) 開講日 「開学記念日」
15日(土) 後援会総会・同窓会35周年
記念総会
23日(日) 大学祭(仮装行列)
27日(木) 大学祭(前夜祭)
28日(金) 大学祭(本祭)休講
29日(土) 大学祭(本祭)休講
30日(日) 大学祭(本祭)休講
31日(月) 代休講

7月

10日(土) 補講日
14日(水) 補講日
15日(木) 補講日
17日(土) 補講日
19日(月) 補講日・前期授業最終日
21日(水) 前期定期試験開始
24日(土) 前期定期試験実施日
31日(土) 前期定期試験実施日
(前期定期試験最終日)

6月

5日(土) クラブ対抗新入生歓迎ボールング大会

自動車部

10.12 / 6 第10回 GLE 'ASL
ハイスピードスラローム
95 M 佐藤 雅則 A 6位
95 E 緒方 崇之 A 26位
97 M 宮脇 英史 A 21位
97 M 加藤 誠司 A 18位
97 M 高松明日香 A 35位
95 C 近藤立志樹 A 20位(FR2位)

陸上部

10.12 / 13 '98 東海シティマラソン
97 M 藤岡 康志 10km 12位
97 M 船坂 尚 10km 59位
97 D 栗本 敏行 10km 119位



本学の源流、桃介を訪ねて(4)

恵那峡に立つ桃介 ~電力王(1)~

膨らみ始めた桜にいつそう春めいてきた木曾川河畔、恵那峡を見下ろす高台に桃介が立っていた。

遊覧船の乗船場から少し歩くと、小さく岬状に湖に突きだして公園がある。その中にちょっとした丘があって、登ると対岸には恵那峡ランドの観覧車が見える。桃介はここに立っていた。もとより本人ではない。桃介の銅像である。観光地によくある英傑像のような大きなものではないが、壮年期の桃介らしく、すくと立ち胸をはって恵那峡を見下ろしている。

恵那峡は、満々と水をたたえるダム湖と、春の桜、夏の若葉、秋の紅葉の四季それぞれの木々が織りなす美しさで私たちを楽しませている。今日の恵那峡の姿すなわち大井ダム湖を作ったのは桃介である。

桃介は、日本で最初の本格的なダム式発電所として大正13年にこの恵那の地に大井発電所を建設した。川の兩岸をつなぐダムの長さ276m、高さ53m、そして21の水門、ダム湖の長さは11kmに及ぶ。そしてダムの下には約4万3千KWの発電を誇る発電所。この大井ダムと大井発電所こそ、桃介のライフワークともいえる巨大な事業であった。

** 桃介、名古屋に来る **

日清・日露戦争の株式相場で大成功を納めた桃介は、株で作った資金をもとに本格的に実業に取り組むことを考えていた。東京に住む桃介に名古屋の友人である下出義義が、名古屋電燈株への経営参加を勧誘してきた。明治43年、桃介42才の年、彼は名古屋電燈の経営に参加し、ここに名古屋を舞台にした活躍が始まる。

なお、この下出民義の息子の下出義雄が後に大同製鋼の社長となり、大同工業教育財団と大同工業学校を設立した。この教育財団が後に大同学園となり、本学を設立(昭和39年)した。

** 木曾川の無限の可能性に着眼 **

名古屋に着いた桃介が目つけたのが木曾川の豊富な水量である。当時はようやく電灯が普及し、各地に電鉄事業をはじめとする電力を利用した産業が興りだしたところであった。当時の発電はほとんど石炭火力に頼っていた。

三井三菱の財閥も九州や北海道の石炭採掘に血眼になっていた。

そんな時代に、桃介の見ていたものは違っていた。「燃える石炭は沢山あるように見えてもいつかは尽きる。有限の石炭に対して水は無限である。この水こそ日本の誇るべき資源だ。」というのが、桃介の考え方だった。名古屋に着くや、自ら草履履きで木曾の山中を歩いて調査した。水量は豊富、しかも日本屈指の美林が雨を受け止め、水の貯蔵庫となっている。

こうして桃介は木曾川の開発こそ自分の一生を託する一大事業と考え、壮大な計画を胸に描いた。(次号につづく)

福沢桃介(ももすけ)とは 明治から昭和にかけて名古屋を中心に電力・鉄道・製鋼の事業に活躍した天才的な実業家。本学の創立は昭和39年であるが、前史をさかのぼれば、昭和14年大同製鋼による大同工業学校の設立に、さらには大同製鋼の創立者でもある福沢桃介に至る。桃介の溢れる創意とチャレンジ精神、合理的な思考と国際的な視野には学ぶべきところが多く、本学の「学祖」と言ってもいいかもしれない。なお、福沢論吉のむすめ婿としても知られている。

参考文献:『関西電力二十五周年史』、関西電力東海支社発行「木曾川開発の歴史」、宮寺俊雄著「財界の鬼才 - 福沢桃介の生涯」、鈴木静夫著「木曾谷の桃介橋」、大同特殊鋼社内報「ふれあいDAIDO」1992年8月号



君は知っているか 地球環境問題 キーワードは「循環」



人文社会教室
教授 佐々木秀太

地球環境問題というのは、人間自身が人間を含む生物の生存条件を破壊していることだと言えるでしょう。環境問題にとって、重要なキーワードの一つは「循環」です。資源のリサイクルも一つの「循環」ですが、なぜ循環が大切なのかを理解するためには、生物の生存条件が、「循環」によって維持されているという認識が必要です。

地球は閉ざされた箱庭

生物の生存条件は、大気と水と土壌だといわれます。地球は重力の法則が働いていますから、物質が地球外に放出されることはありません。また地球外から入ってくるのは太陽が照射するエネルギーだけですから、地球は一種の閉ざされた箱庭と考えることができます。この中で物質が一つの方向に移動したり変化したりするとすれば、内部の状態 すなわち、環境 は、どんどん変わってしまいます。地球上に生物が誕生してから38億年の間、地球上で生物の生存条件が維持されてきた(地球がある種の定常状態を保ってきた)のは物質の循環によるものです。

地球のエアコンー大気と水の循環ー

まず重要なのは大気と水の循環ですが、これを司るのは、太陽エネルギーです。大気中に0.03%だけ含まれている二酸化炭素や水蒸気などの温室効果気体が、地表から放射される赤外線を一時的にせき止めて地表を暖めることにより、地表の平均温度は15程度に保たれています。地表面近くで暖められた大気や水蒸気は軽くなって上昇し、上空5000m近くで熱を放射しますから、大気と水の循環は、地球の空調装置であるといえるでしょう。

人間が生命活動や経済活動で放出する熱もすべてこのようにして宇宙空間に放射されます。温室効果気体が増大すると、一時的にせき止められる熱量が増大することになるわけですが、熱を放射して重くなった大気は下

降し大気の大気対流を作り出します。この対流と地球の自転によって、風が起こります。風は、海流を作り海洋に対流を作り出します。熱を放射した水蒸気は雨や雪となって降ってきます。地球上の水の97%は海水で、河川の水は.0001%にすぎません。大気中の水蒸気は年平均降水量の10日分しかありませんから、重力の法則だけが働き、水の蒸発がなければ陸上の水は枯渇します。

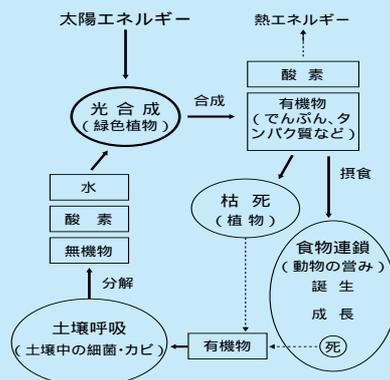
こうした大気と水の循環が、様々な気候や気象を作り出し、それぞれの場所での生物の生存・生活条件をなしているのです。

生命活動のサイクル

大気と水に守られて海水面の上下10km以内に様々な生物が息しています。これを生物圏といいます。生物圏には、森林、湖、農耕地、海洋など他と区別されるまとまりがあり、それぞれが安定した自然を作っています。こうしたまとまりを生態系といいます。

個々の生態系に生息する生物種は様々に異なっていますが、共通しているのは、木や草やある種のプランクトンなどの緑色植物が太陽エネルギーを利用して水や二酸化炭素、そしてその他の無機物からでんぷんやタンパク質などの有機物を作り出していることです(光合成)。このときに酸素を放出します。これが地球上で唯一の酸素の供給源です。また、他の生物が必要とする有機物の元はすべてここで作られます。この緑色植物を基礎に食物連鎖(植物 食植動物 肉食動物)がつくられているのです。人間もこの植物や動物から有機物とともに生命活動に必要なエネルギーを取り入れています。

植物はいずれ枯れます。動物も食べた物の一部を排泄し成長しますが、いずれは死にます。そのままであれば地球上は、枯れ木や枯れ葉、そして動物の排泄物や死骸の山になり、一方では土壌中の無機物は枯渇して、はげ山や荒地がいたるところにできて砂漠化してゆくはずですが、ところが、土壌の中などに生息する細菌やカビが酸素を吸収しながら有機物を無機物に分解(これを土壌呼吸といいます)してくれるので、地球は枯れ草や死骸の山とならずにすみ、また光合成も繰り返し行うことが可能となっているのです。



このように、光合成から始まり微生物の分解に至る連鎖の中を、生命体を構成する有機物の元となる物質や生命活動に必要な物質が循環しているのです。生態系の循環全体では、酸素も二酸化炭素もプラスマイナス・ゼロということになります。人間も他の動物と同様に、生命活動に必要な物質やエネルギーをこの生態系の循環から取り入れているのです。

地球を痛めつける廃棄物

人間が、膨れあがった人口を養い、豊かな生活するために使用する物質のほとんどが循環しません。循環再利用できない(されない)物質はいずれ枯渇するおそれがあります。同時に、自然の浄化能力によって分解されない物質(個体、液体、気体)は、地球上に廃棄物となって蓄積し、大気や水の循環を狂わせて気象や気候に影響を与え(温暖化、オゾンホール)自然の生態系を傷つけ(酸性雨、海洋汚染、農薬等の化学物質汚染)人間自身をも傷つけている(ダイオキシン等の環境ホルモン)のです。

資源の再利用(リサイクル)は結構なことですが、現在のところそれには、大量のエネルギーを必要としています。「地球にやさしい」という宣伝文句がはやっています。しかし決して地球の傷を癒しているわけではありません。せいぜいが「以前に比べて傷の程度は軽い」というもので、地球環境を傷つけていることに変わりありません。

世界のゴミ焼却炉の70%が日本に 都市の環境問題

私たちの住んでいる都市という環境は、緑色植物に欠けていますから、食物も、酸素も他の自然生態系に依存しなければなりません。日本人の8割以上は都市圏にすんでいます。日本は毎年12.5億トンもの物資を生産し、海外から7.5億トン輸入しています。都市は、コンクリートで覆われていますから、有機物を分解してくれる微生物も不足しています。一般廃棄物のみでも毎年5000万トン近いゴミが収集され、3800万トンが(自然が分解可能な大量の有機物も)焼却されています。その為に、世界中の焼却炉の7割に近い約1900基の焼却炉が日本国内で稼働しているのです。

日本がゴミの山になりかけ、海の富栄養化が問題になっている一方で、食料等の輸出国では、土壌中の養分の不足を補うための化学肥料や農薬等の大量使用によって土壌汚染や土壌浸食が起こり、材木輸出や農地・牧場などの拡大によって熱帯雨林が減少するなど、資源や自然の減少や枯渇の問題が起こっているのです。生物の生存に必要な物質の循環も地球規模で考え、人間こそがそれを助ける必要があるということなのです。

図書館 新システム稼働開始

どこでも いつでも より速く

“ 図書館に行かなくても、見たい本があるのかを調べることができたら...” と思ったことはありませんか？ それが可能になりました！ すでに図書館では、貸出・返却をはじめ図書や雑誌の登録、そして検索などにコンピュータシステムを利用して来ましたが、この4月にそのシステムを一新し、今まで以上に便利で使いやすい図書館に生まれ変わったのです。



では、図書館はどのように変わったのでしょうか？

どこからでも利用できます

インターネットや学内LANなど、ホームページを利用できるコンピュータがあれば、どこからでも図書館の情報を知ることができます。

例えば、

* 自宅のパソコンをインターネットにつなぎ、図書館のホームページにアクセスすれば、蔵書の検索をしたり、図書館の利用方法を知ることができます。

* パソコンを持っていない人でも、学内の自習室や情報処理センターなどにあるパソコンを利用すれば、同じことができます。

図書館に足を運ばなくても、欲しい情報が入手できます！

いつでも利用できます

システムは24時間稼働していますので、開館時間に関係なく、いつでも利用することができます。

例えば、

* 閉館した後や休日などでも、図書館のホームページにアクセスすれば、図書館の様々な情報を知ることができます。

思い立ったときに、即座に情報が入手できます！

次に、図書館のホームページでは、どのようなことを調べることができるのでしょうか。

Q: 図書館の開館時間が知りたいのですが？

A: 開館時間ももちろん、毎月の閉館日もお知らせしています。

Q: 貸出の方法がわからないのですが？

A: 利用案内のページを見れば、貸出・返却のほか、図書館の利用方法を知ることができます。

Q: 探している図書の正確な名前がわからないのですが？

A: 蔵書検索(OPAC)は、書名の一部でもわかれば、その部分から探し出すことができます。

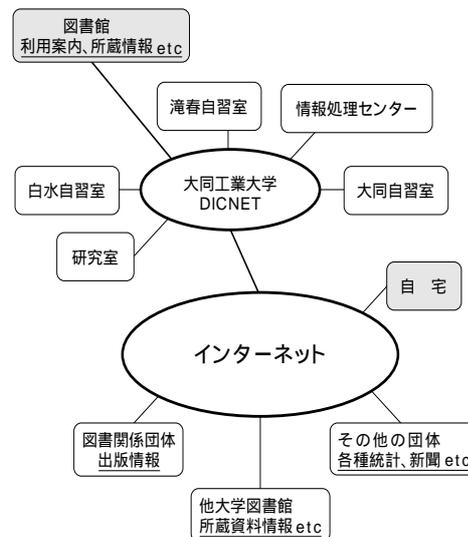
Q: 探している図書を本学図書館では所蔵していないのですが？

A: 他大学の図書館など、関連する他のホ-

ムページにリンクしていますので、本学図書館にない資料の情報も調べることができます。また、図書の出版情報を調べることができるホームページにもリンクしています。

その他にも、図書の購入から書棚に配置するまでの業務を、より効率的に処理できるようになりましたので、今まで以上に早く新刊書を利用していただけようになりました。

コンピュータの進歩とともにインターネットが普及し、出版や図書館の世界にも電子化が進んでいます。本学図書館としてもこの流れに対応し、電子図書館的な機能を備えることも目指し、より一層サービスを拡大していく予定です。



ホームページだより

新設ページ

●教員個人ページオープン

一般教養・人文社会教室の佐々木教授、服部助教授、渡辺講師のページがオープンしました。URLは次のとおりです。

佐々木教授

<http://nagoya.daido-it.ac.jp/ssasaki/index.html>

服部助教授

<http://nagoya.daido-it.ac.jp/fumihat/index.html>

渡辺講師

<http://nagoya.daido-it.ac.jp/watanabe/index.html>



役立ち情報

●Academic Web

(<http://www.inatec.co.jp/>)

このホームページは、学術に関する総合情報ページです。掲載内容は、学会・研究会/大学・研究機関/ホテル情報/交通情報/気象情報/Book Shop/公益法人等/リンク集/DOS-V & Mac、となっています。「大学・研究機関」のページでは、国内の大学、短大、大学院大学のurlが県別に、国内の試験研究機関等は五十音順に分類されています。また、「交通情報」のページでは、鉄道、バス、航空機などの時刻表、料金、予約等各種案内を行っているページを案内しています。



●名鉄 - 時刻・運賃案内

(<http://www.meitetsu.co.jp/kensaku/start.html>)

このホームページは、名鉄電車・バスの時刻や運賃をメニュー方式で検索することができます。電車部門では、「最適な列車を調べる」、「運賃を調べる」、「駅の時刻表を見る」のメニューが、バス部門では、「バスの時刻を調べる」、「運賃を調べる」、「停留所の時刻表をみる」のメニューが用意されています。また、高速バスでは、空席紹介や乗車券販売にも対応しています。



催事情報

日本人間工学会第40回大会

日程:平成11年5月15日(土)~16日(日)

会場:大同工業大学大同校舎

特別講演:「人間・心・宗教」

赤池憲昭氏 他

会費:9,000円

事務局:名古屋大学大学院・多元数理

宮尾研究室

日本人間工学会第40回大会事務局

Tel/Fax: 052-789-5572

大会長:高田和之

大同工業大学電気工学科教授

同窓会創立35周年記念パーティー 「第34回第15期同窓会総会」

日時:平成11年5月15日(土) 13:30~

場所:名古屋観光ホテル(中区錦一丁目)

記念講演:「私の波瀾万丈」中島誠之助氏
参加費:10,000円

事務局:大同工業大学同窓会

Tel/Fax: 052-612-8550

後援会第36回定期総会・教育懇談会

日時:平成11年5月15日(土)

定期総会(12:00~)教育懇談会(13:15~)

場所:名古屋観光ホテル

記念講演:同窓会と共催(15:00~)

参加費:無料

事務局:大同工業大学後援会事務局

人事室

新任 平成11年4月1日付

●学長/澤岡 昭 ●教授/遠藤敏夫(材料科学技術研究所、応用電子工学科併任) ●講師/今井健二(一般教養物理学教室) 萩原伸幸(建設工学科建築学専攻) ●書記/森川博光(本部事務局総務部庶務室) ●嘱託職員/大山勲夫(本部事務局総務部庶務室) 坂田正光(機械工学科) 竹内誠(機械工学科) 大橋一夫(電気工学科) 橋立光男(電気工学科) 林隆司(工作実験実習室) 吉岡義春(大学事務局入試室) ●臨時補助員/坂元広子(一般教養化学教室) ●特別嘱託職員/谷口俊春(大学事務局入試室・広報担当北陸地区駐在員) 柴原善嗣(大学事務局入試室・広報担当三重地区駐在員)

退職 平成11年3月31日付

●学長/堀井憲爾 ●副学長/細井祐三(機械工学科教授) ●教授/齋藤辰彦(建設工学科建築学専攻) ●助教授/市古忠利(材料科学技術研究所・応用電子工学科) ●嘱託職員/尾畑智光(電気工学科) 池松顯弘(電気工学科) 大森淳次(工作実験実習室) 臼倉包(入試室) 坂本猛(図書館事務室) ●臨時補助員/金丸秀一(機械工学科) 安永吉伸(一般教養化学教室) 羽角則雄(総務部庶務室)

昇任 平成11年4月1日付

●教授/上田英靖(一般教養数学教室) 舟渡悦夫(建設工学科土木工学専攻) 稲垣卓造(建設工学科建築学専攻) ●助教授/成田淳一郎(一般教養数学教室) 近藤巖(機械工学科) 山田忠比古(電気工学科)

任命 平成11年4月1日付

●大学副学長/中島浩衛(機械工学科教授) 事口壽男(建設工学科土木工学専攻教授) ●大学学長補佐/曾我静男(一般教養教職課程教授) 岩間三郎(応用電子工学科教授) 小野二郎(常務理事本部事務局長)

委嘱 平成11年4月1日付

●修士課程建設工学科専攻主任/酒造敏廣(建設工学科土木工学専攻教授) ●大学客員教授/末松安晴、中井三留、小川明、渡邊悟 ●大学院客員教授/西田義則、岡部道生、徳納一成、三留秀人、五十嵐一男、安田匡一郎、柳澤雅明、西尾孝幸

編集後記

新入生の皆さん入学おめでとうございます。「DAIDO CAMPUS」は学生の情報誌として年4回発行しています。只今、ボランティアの学生記者を募集中です。興味のある方は社会交流センターまで申し出て下さい。

社会交流センター
E-mail: pccir@daido-it.ac.jp
大同工業大学ホームページ
<http://www.daido-it.ac.jp/>